

ユニバーサルデザインラボ

UNIVERSAL DESIGN LAB

Movie in the Dark

映画のユニバーサルデザイン

Movie in the Dark では、視覚障がい者が映画を楽しむための取り組みを行っています。ユニバーサルデザインラボを中心とするメンバーは、監督・松竹およびボランティア団体のご協力のもと、音声ガイドを作成し、来場者の皆さんにこれを体験してもらいました。そして、この音声ガイドは、映画のDVD制作・販売の際に、正式な音声ガイドとして採用されました。



Supermarket Sign Design

スーパーマーケットの売場におけるサイン計画のユニバーサルデザイン

スーパーマーケット内で商品を探すのに迷ったことはありませんか？高齢者や障害者は、買い物をするときに最も困ることとして、「商品がどこにあるのかわからない」ことをあげています。

車椅子利用者や視覚障がい者、高齢者など様々な人がスーパーの売場でスムーズに商品を見つけることのできる分かりやすい“サイン”とは何かを考えていきます。



Accessibility

エレベーターのユニバーサルデザイン

車椅子利用者や視覚障がい者の方々に協力して頂きながら、当該ラボでは、エレベーターのユニバーサルデザインを行っています。

エレベータは、公共の場で様々な方々に利用されています。エレベーター単体ばかりでなく、エレベーターホールも、そこに至るまでの通路もユニバーサルデザインの対象です。

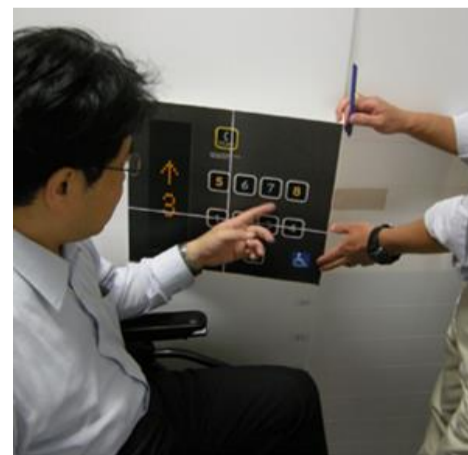


Elevator Cage System

エレベーターかごのシステムデザイン

エレベータかご内のユニバーサルデザインはどうあるべきでしょうか？操作パネルのボタン配置は車椅子利用者にとって適切でしょうか？車椅子利用者は安全にエレベータを利用できるように設計されているでしょうか？

私たちはフィールドワークやプロトタイピングを通じて、ユニバーサルデザインを追求しています。



一緒にユニバーサルデザインについて考える仲間を募集しています。上記に挙げた対象や、その他関連することについてディスカッションしましょう。デザインすべき様々なものに関して、要求分析により新たなデザインの提案を行い、すべての人々にバリアフリー環境を提供したいと考えています。

Think Access!

代表：西村秀和